

4．観光促進に青森空港が果たす役割

県内の観光戦略を踏まえ、観光交流を促進させるため、青森空港に求められる役割及び関係者において実施すべき事項は下記のとおりである。

(1) 航空サービスの向上

国内路線の充実	国内線の維持・拡大 ダブルトラックの復活
国際路線の充実	国際線の維持・拡大
定時運航の確保 ・就航率の向上 ・降雪等による遅延、 欠航の軽減	計器着陸装置等の高カテゴリー化 (CAT - CAT - a) 平成19年3月中旬の供用開始予定 冬期間の遅延等への対策 (除雪の効率化等)
ターミナルエリア施設の機能強化	施設の機能性、快適性の向上
利用者意見の反映	顧客満足度の向上

(2) 空港アクセスの充実

交通結節点としての空港機能の強化	ターミナルエリアの整備 (構内道路の混雑緩和、構内交通の再整理)
空港と周辺都市の交通の円滑化	二次交通の拡充 (バス、タクシー、レンタカー各社との協働による スムーズな二次交通の拡充)

(3) 情報の提供

観光・アクセス・運航等情報の有効活用

求められる情報

観光 ...観光・イベント情報

アクセス...二次交通情報 (バス、タクシー、レンタカー等)

道路情報 (雪情報、監視カメラ、道路表示板等システム)

交通情報 (鉄道、海上交通)

運航 ...フライト情報、遅延・欠航・残席情報

その他 ...気象情報 (警報、見通し、空港の気象等)

空港情報 (駐車場)

情報発信

空港ホームページの充実

空港案内所の充実

(4) ユニバーサルデザインの充実

誰にでも利用しやすいターミナルエリアづくり

ユニバーサルデザインの推進

(空港ビル、構内道路、駐車場等利用者の動線)

国際化に対応した案内表示の整備

(各種サインの表示場所、表示方法、表示対象語等を
検証、改善)

「青森空港バリアフリー協議会」による検証、
検討の継続